# ESAおよびCESでの柔軟なメールポリシー照合 機能の設定

## 内容

概要 <u>前提条件</u> <u>要件</u> 使用するコンポーネント <u>背景説明</u> 設定 <u>設定</u> <u>GUI で次の手順を実行します。</u> <u>CLI から、(バージョン9.7.x ~ 11.0.x)</u> 確認 <u>オプション 1</u> <u>オプション 2</u> トラブルシュート 関連情報

### 概要

このドキュメントでは、Cisco Eメールセキュリティアプライアンス(ESA)およびクラウドEメー ルセキュリティ(CES)で柔軟なメールポリシーの一致を設定する方法について説明します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- •メールポリシーとそのESA/CESでの動作について理解する。
- CLIの使用。
- •エンベロープ送信者とヘッダーの違い:送信者、返信先、送信者。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、AsyncOS上のCisco ESA/CESに基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このド キュメントで使用するすべてのデバイスは、初期(デフォルト)設定の状態から起動しています 。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的 な影響について確実に理解しておく必要があります。

## 背景説明

Flexible Mail Policy Matchは、11.1.xリリースより前のバージョンのCisco ESA/CESデバイスに導入されました。これにより、管理者は次のいずれかに基づいて電子メールをポリシーに照合できます。

•送信者およびすべての受信者。

- •特定の受信者に対するすべての送信者。
- •送信者と特定の受信者。

受信者のアドレスがエンベロープ受信者のアドレスと一致します。

送信者アドレスが次の順序で一致します。

注: AsyncOS 11.1.xリリースでは、照合順序を設定できます。

- 1. エンベロープ送信者(RFC821 MAIL FROMアドレス)。
- 2. RFC822で見つかったアドレス:ヘッダーが含まれています。
- 3. RFC822 Reply-Toヘッダーで見つかったアドレス。

ユーザの一致はトップダウン方式として評価され、最初の一致が優先されます。

ポリシーの順序は、メッセージが要件に対するポリシーと照合されるようにするために重要です 。

電子メールに複数のポリシーに一致する送信者と複数の受信者が含まれている場合、メッセージ は1つのメッセージID(MID)から一致するポリシーの追加MIDに分割されます。

## 設定

#### 設定

ESA/CESで柔軟なポリシーー致を設定するには、次の手順を実行します。

#### GUIで次の手順を実行します。

1. に移動 メールポリシー。

2. [受信メールポリシー]または[送信メールポリシー]をクリックして、ポリシーを作成します。

- 3. クリック ポリシーの追加...
- 3. 意味のあるポリシー名を入力し、要件に合わせて順序を付けます(トップダウンの最初の一 致の動作に注意してください)。
- 5. [Add User...]をクリックします。
- 6. このポリシーに一致するように送信者と受信者を設定します。

- 7. ペインの受信側で、このポリシーに対してANDまたはORの動作が必要**かどうか**を確認しま す。
- 8. [OK]をクリックして、変更を続行し、送信して確定してください。

注:次の受信者は[次の受信者]フィールドで定義されたドメインから特定の受信者を除外す る場合は使用されません。

Ad	d User						
۲	Any Sender			Only if all conditions match			
۲	Following Senders	0	Any Recipient	Only if all conditions match			
0	Following Senders are Not	۲	Following Recipients	If one or more conditions match			
	Email Address:	externaluser@xyz.com, externaluser@gmail.com					
	matthew@abc.com						
			(e.g. user@example.com, user@, (	@example.com, @.example.com)			
	(e.g. user@example.com, user@, @example.com, @.example.com)		LDAP Group:				
	LDAP Group: There are no LDAP group queries defined.		There are no LDAP group queries defined.				
			Following Recipients are Not				
			Email Address:				

CLI から、(バージョン9.7.x ~ 11.0.x)

1. policyconfigコマンドを発行します。

- 2.1または2を入力して、受信メールポリシーまたは送信メールポリシーを設定します。
- 3. コマンド「new」を発行して、新しいメールポリシーを作成します。
- 4. プロンプトに従って、このポリシーに一致するユーザを追加します。
- 5. 指示に従って、ポリシーセキュリティスキャナの設定を完了します。
- 6. 完了したら、変更を送信してコミットしてください。

C680.esa.lab> policyconfig

Would you like to configure Incoming or Outgoing Mail Policies?

- 1. Incoming
- 2. Outgoing
- [1]> 1

注:バージョンAsyncOS 11.1.x GUIの[**Mail Policies]タブまたはCLIでは、送信者一致の順序** を変更できます。

CLIコマンド**policyconfig**では、管理者が変更を開始するための追加オプションが導入されています。

デフォルトでは、優先順位は上記の「背景情報」の下に**示されています。**バージョン11.1.xの編 集可能な値は次のとおりです エンベロープ送信者、ヘッダー:**From、Reply-Toおよび**Sender。 次に、デフォルトのプライオリティの例を示します。 vesa2.lab> policyconfig
Would you like to configure Incoming Mail Policy or Outgoing Mail Policies or Match Headers
Priority?
1. Incoming Mail Policies
2. Outgoing Mail Policies
3. Match Headers Priority
[1]> 3
Match Headers Priority Configuration
Priority: Headers:
------P1 Envelope Sender

Choose the operation you want to perform:ADD - Add match priority for headersEDIT - Edit an existing match priority for headersREMOVE - Remove an existing match priority for headers

## 確認

ESA/CESのポリシーー致動作を確認するには、2つのオプションがあります。

### オプション 1

- 1. [GUI] > [Incoming/Outgoing Mail Policies]に移動します。
- 2. [ポリシーの**検索]ボックス**にユーザーアドレスを入力し、それぞれの送信者または受信者の 一致に対応するラジオボ**タン**をクリッ**ク**します。
- 3. [ポリシーの検索]をクリックします。

出力例を次の図に示します。

Find Policies										
Email Address:			dress: matt@lee.com	matt@lee.com		© Recipient Find Policies © Sender				
		R	esults: Email Address • matt_tw • Default	Email Address "Sender: matt@lee.com" is defined in the following policies: • matt_two • Default Policy (all users)						
Policies matching "matt@lee.com"										
Add Policy Show All Policies										
Order	Policy Name	Anti-Spam	Anti-Virus	Advanced Malware Protection	Graymail	Content Filters	Outbreak Filters	Delete		
2	matt_two	(use default)	(use default)	(use default)	(use default)	(use default)	(use default)	窗		
	Default Policy	IronPort Anti-Spam Positive: Deliver Suspected: Deliver	Sophos Encrypted: Deliver Unscannable: Deliver Virus Positive: Drop	File Reputation Malware File: Drop Pending Analysis: Deliver Unscannable - Message Error: Deliver Unscannable - Rate Limit: Deliver Unscannable - AMP Service Not	Not Available	envelope_copy_quaranty	Disabled			

## オプション 2

- 1. 次の場所に移動します。 [GUI] > [System Administration] > [Trace]を選択します。
- 2. トレースツールの詳細を入力し、[Envelope Information]の下に[Sender/Recipient]の詳細を入 力して、一致を確認します。

3. [トレースの開始]をクリックします。

4. [メールポリシーの処**理]まで下にスクロール**し、一致するポリシーを確認します。 出力例を次の図に示します。

Message Definition					
Sender Information					
Source IP Address:	10.66.71.10				
Fully Qualified Domain Name:	If left blank, a reverse DNS lookup will be performed on the source IP.				
Trace Behavior on:	InOutListener 👻				
Domain Name to be passed to HELO/EHLO (optional):	EHLO				
SMTP Authentication Username (optional):					
SenderBase Network Owner ID:	<ul> <li>Lookup network owner ID associated with source IP</li> <li>Use:</li> </ul>				
SenderBase Reputation Score (SBRS):	I Lookup SBRS associated with source IP Use:				
Envelope Information					
Envelope Sender:	matt@lee.com				
Envelope Recipients (separated by commas):	matthew@cisco.com				
Message Body					
Upload Message Body:	Browse No file selected.				
Paste Message Body: (If no file is uploaded.)	From: matt@lee.com To: matthew@cisco.com Subject: Body is required for Trace to show X-Headers: Inserted at the top This is the body portion				

Clear

Start Trace

Mail Policy Processing: Inbound (matched on policy matt\_two) Message going to: matthew@cisco.com

# トラブルシュート

現在、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

## 関連情報

- <u>Cisco E メール セキュリティ アプライアンス : エンドユーザ ガイド</u>
- <u>テクニカル サポートとドキュメント Cisco Systems</u>

・<u>メッセージ分割とは何ですか。</u>